

キタヨコエビ科の仲間

Anisogammaridae sp.

キタヨコエビ科



キタヨコエビ科の仲間（標本）

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 花

(外来種) 花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ

名前の由来

キタは日本の北部に生息するためか。ヨコは体を横たえて移動することが多いためと考えられる。エビの語源は、エビを熱するとエビ(葡萄。エビカズラ等の類。)色になることから、という。漢字名：北横海老

形態的特徴

体長10mm前後。淡黄色ないし黄褐色のものが多い。ワラジムシの様に見えるが、側面から押された様に平たい。体を屈伸しすばやく飛び跳ねる。

類似種：なし。

生息環境・分布

汽水～淡水の水底で、砂・石・落葉の下などに体を横にして潜む。

分布：国外分布は、ロシア。

国内分布は、日本全土。

北海道内では、普通に分布。

十勝地方では、普通に分布。

食性・他の生物との関わり

雑食性で藻類のほか腐った植物や動物にも群がる。

特にカエルの重要な餌となる。魚類ではハゼ・カジカ類の重要な餌資源となっている。

繁殖生態・寿命

産卵は春から夏と秋から冬にかけて2回あるらしい。産卵された卵はメス腹部の保育囊に入れられて、孵化まで保護される。

興味深い話

■北方系のグループで、ロシアなどの寒冷地では多くの種が生息する。

■カエル類・ハゼ・カジカ類の重要な餌資源となっている。

配慮事項

水質汚濁に対する配慮が必要である。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
確認できる時期												

参考文献

「川の生物図典」財団法人リバーフロント整備センター 1996

「田井商店」のホームページ

<http://www.tai-shoten.com/>